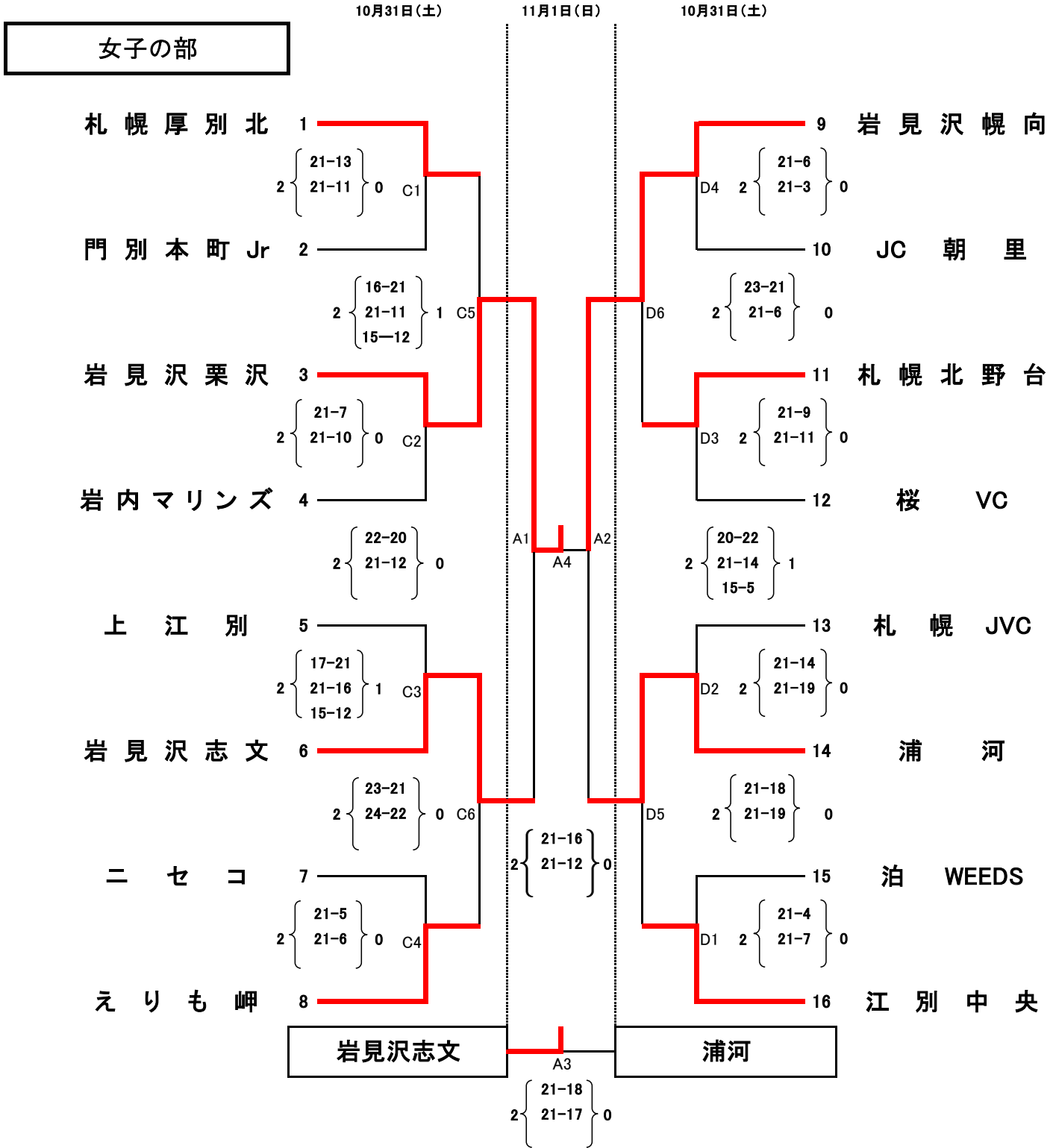


第35回道新カップ 北海道小学生バレーボール大会 道央大会

開催日 平成26年10月31日(土)~11月1日(日)
会場 岩見沢市栗沢小学校・B&G海洋センター

大会委員長 加藤 学
競技委員長 澤田 康二

審判委員長 平井 伸治
総務委員長 石田 敏



○準決勝第1試合 岩見沢栗沢 VS 岩見沢志文

志文のサーブ、スパイクがよく決まり11-8で志文リードで折り返す。後半栗沢のレフトからのスパイクやブロックが決まりはじめ逆転。志文も粘りをみせ、デュースに突入するが反撃を振り払い22-20が第一セットをとる。第二セットは前半相手のミスから栗沢が11-7とリードして折り返す。後半も多彩なスパイク、ブロック、サーブがよく決まり、21-12で栗沢が連取して勝利。

○準決勝第2試合 岩見沢幌向 VS 浦河

序盤、幌向のサーブミスが目立ち、それに対して確実にサーブを入れ点数を重ねた浦河が11-7とリードして折り返す。後半は、一転幌向のサーブがよく決まり逆転し、幌向が先にセットポイントを迎える。しかし浦河の反撃にあいデュースの末22-20で浦河が先取。2セット目は、一進一退の攻防で進み、幌向リードで折り返す。その後も効果的に得点を重ね21-14で幌向が取り返す。3セットめは2セット目の勢いそのまま幌向が連続7得点をとるなど流れをつかみ15-5で幌向。セットカウント2-1で幌向が勝利した。

○決勝戦 岩見沢幌向 VS 岩見沢栗沢

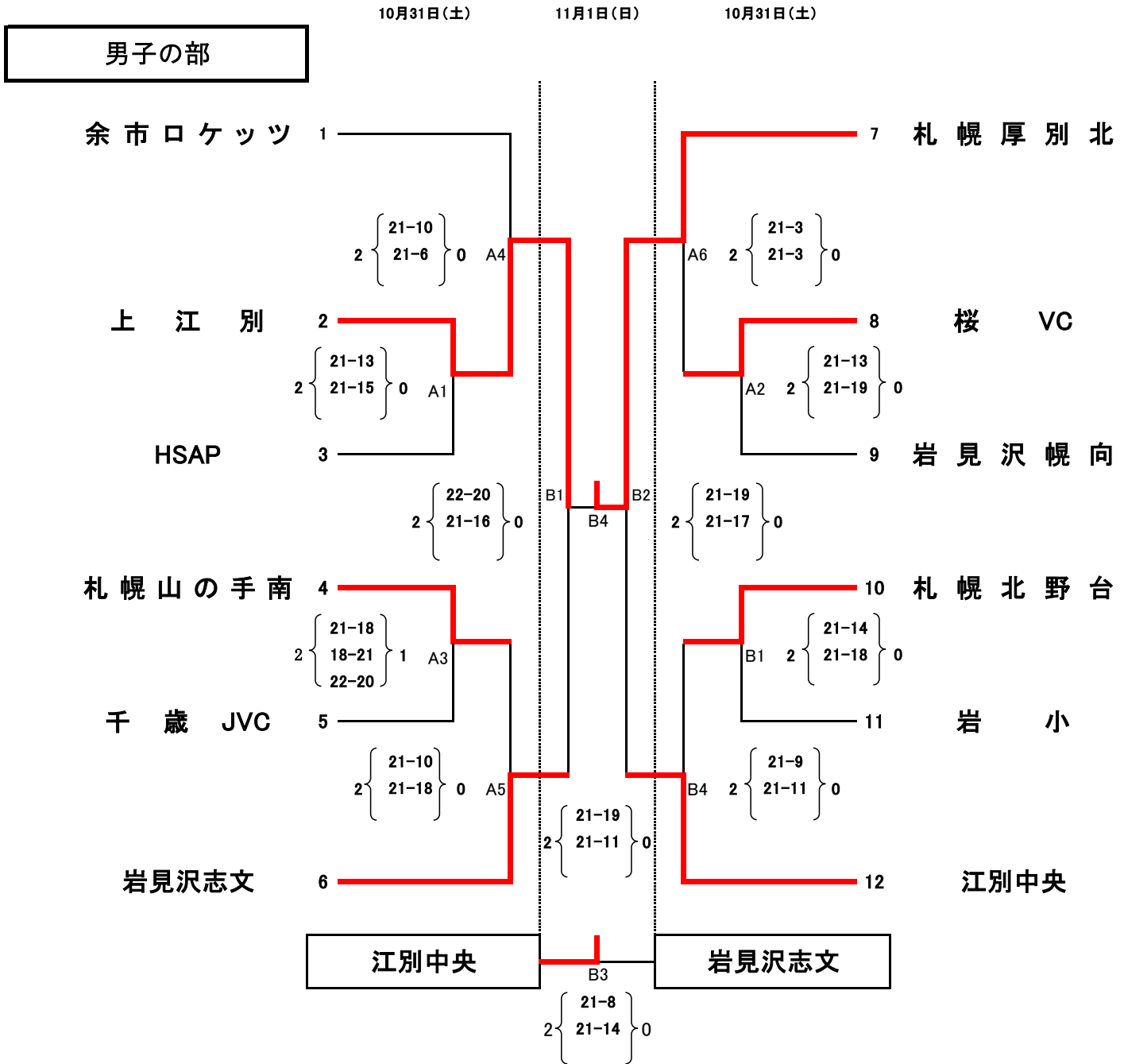
スタートから幌向が4連続得点をするも栗沢も3連続得点。サーブでうまく崩していった幌向が11-5とリードして折り返す。後半、幌向のサーブミスをきっかけに栗沢が追い上げ逆転。その後も順調に得点を重ねていった栗沢が21-16で先取。2セット目は一進一退の攻防もミスの少ない栗沢が得点を重ねていき、11-6栗沢リードで折り返す。後半もサーブミス等でなかなか流れを作れない幌向に反して、サーブ・スパイクで着実に得点を伸ばす栗沢。最後はブロックで決めた栗沢が21-12で連取。セットカウント2-0で栗沢が勝利。

第35回道新カップ 北海道小学生バレーボール大会 道央大会

開催日 平成26年10月31日(土)~11月1日(日)
会場 岩見沢市栗沢小学校・B&G海洋センター

大会委員長 加藤 学
競技委員長 澤田 康二

審判委員長 平井 伸治
総務委員長 石田 敏



○準決勝第1試合 上江別 VS 岩見沢志文

上江別は2番を中心に志文はライト・レフトとトスを振り分けてせめて、両者終盤まで互角の戦いを見せる。17-17から志文5番のフェイント攻撃で引き離そうとするもスパイクミスやサーブミスが続き、最後は上江別2番の鋭角なクロススパイクによって22-20とし、1セット目を先取。2セット目は開始から終盤まで2番が点数を取り優位に試合を運び、21-15で上江別が勝利。

○準決勝第2試合 札幌厚別北 VS 江別中央

開始から中盤まで互角の試合が続く。その後厚別北の5番を中心としたブロックが決まり、21-19で厚別北が1セット先取。2セット目は江別中央がサーブミス、厚別北はブロックに乱れがあって決定打にかけたまま中盤ですすむ。厚別北はブロックが機能し始めて点を離しはじめ、そのまま2番を中心とした高さのあるスパイクで21-17となり厚別北が2セット目も取り、勝利。

○決勝戦 札幌厚別北 VS 上江別

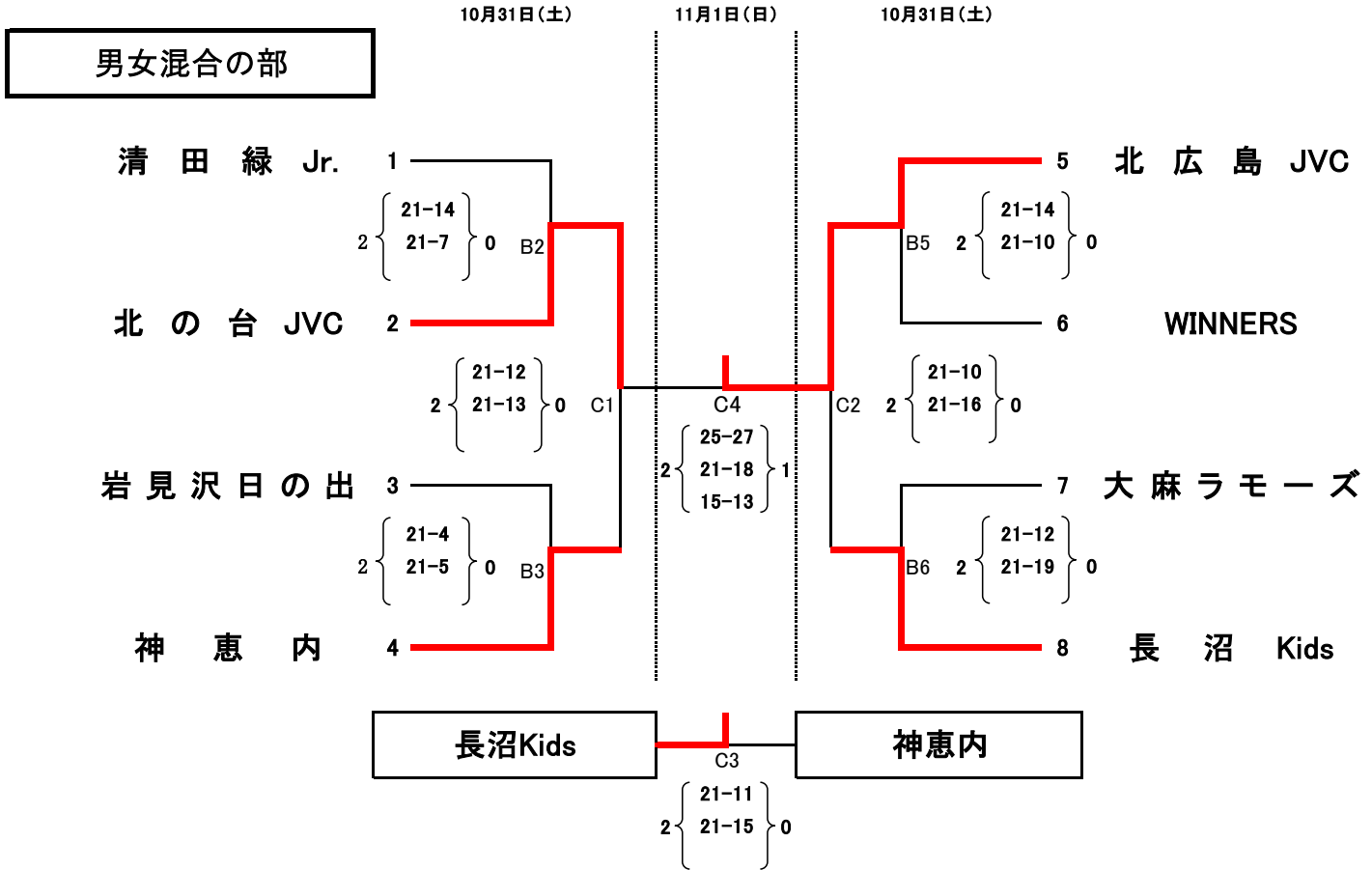
両者ともにエースが点数を取り合い19-19まで進む。上江別のサーブがアウトになり、スパイクも厚別北の高いブロックにシャットアウトされて21-19で厚別北が1セット先取。2セット目も厚別北が高いブロックで点を話し続けそのまま11-4で折り返す。その後はライトからのスパイク、クイックも決まった厚別北の攻めが止まらず、21-11で厚別北が勝利。

第35回道新カップ 北海道小学生バレーボール大会 道央大会

開催日 平成26年10月31日(土)~11月1日(日)
会場 岩見沢市栗沢小学校・B&G海洋センター

大会委員長 加藤 学
競技委員長 澤田 康二

審判委員長 平井 伸治
総務委員長 石田 敏



○準決勝第1試合 北の台 VS 神恵内

1セット目、序盤から互いにリードを許さず、接戦となるが、北の台4番のサーブを起点に北の台がリードする。神恵内も粘り強く食らいつくも安定した攻めを見せた北の台が21-12で先取した。続く2セットも中盤まで神恵内1番を中心とした攻撃で奮闘し、接戦となるが、高さを生かした攻めで北の台が勝利した。

○準決勝第2試合 北広島 VS 長沼Kids

第1セット序盤、両チームともに点を取り合うが、北広島の3番が身長を生かしたスパイク、ブロックを決め、北広島が11-5とリードする。その後、長沼のレフト、センターからの攻撃を見せるも流れは変わらず、21-10で北広島が先取する。第2セット、北広島が4点連取するスタートとなる。途中、長沼の1番がライトからの攻撃を見せ、追いつけるも北広島のエースが要所でスパイクを決め、11-6で折り返す。後半、長沼もレシーブで粘り、17-15と追いつけるも、最後まで北広島のエースの攻撃は止まらず、21-16で2セットも取り、北広島が勝利を取めた。

○決勝戦 北の台 VS 北広島

第一セット、序盤両チームともにエースがスパイクを決めるが、北広島のサーブミス等で11-8で北の台がリードで折り返す。その後、北広島の3番の活躍により5連続得点をした北広島が逆転しその後はデュースまでもつれる。最後は北の台のレフト・ライトからの攻撃が光り27-25で北の台が先取。第二セットは両チームの点数を取り合い、11-10で北広島リードで折り返す。その後も膠着状態が続くが3番のブロックが効果的に決まり、北広島が21-18で取り返す。第3セットも一進一退の攻防で両エースが点数を取り合い、15-13で北広島が取る。2-1で北広島が勝利する。